PL病院ニュース
NO.354
2026年9月号
毎月1日発行

専門医療とチームの力で、子どもたちとご家族を守ります

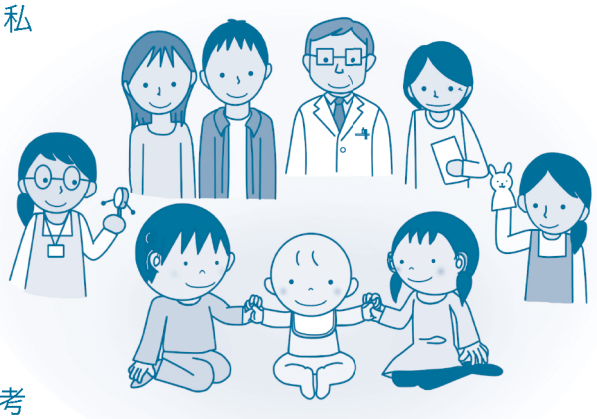
当院小児科は「大阪府小児地域医療センター」の指定を受け、南河内地域における小児医療の強固な拠点病院として機能しています。子どもたちとご家族が安心して笑顔になれるよう一般小児分野から専門分野まで、質の高い医療を目指して日々診療をおこなっています。

当科の最大の強みは、大阪府下でも有数となる33床の病床を有している点です。小児病棟内には新生児病室を備え、早産児や呼吸障害、黄疸などの赤ちゃんの治療を迅速におこなっています。さらに、小児看護の経験豊かな看護師に加え、病棟には専門の保育士を配置しており、慣れない入院に大きな不安を抱える子どもたちや、それを支えるご家族に寄り添い、精神面も含めた多角的なサポートが提供できる体制を整えています。

また、一次対応から高度な専門領域までカバーする幅広い専門外来も当科の特色です。小児の診療に欠かせないアレルギー外来では、喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、スギ花粉症、ダニアレルギーなどアレルギー疾患の治療をおこなっています。食物アレルギーについては、医療者の立ち合いのもと食物負荷試験（チャレンジテスト）を日帰りもしくは1泊2日入院で実施しております。スギ花粉症やダニアレルギーには、舌下免疫療法をおこなっています。糖尿病外来では、インスリンポンプやCGM（持続血糖測定器）などデバイスを導入し、子どもの日常生活に寄り添った選択肢を提示しています。さらに、夜尿症外来、内分泌外来、先天性疾患や川崎病に対応する心臓外来、学校検尿の精密検査を担う腎臓外来、てんかん等に対応する神経外来など、各分野の専門医・指導医が密に連携して診療にあたっています。

救急医療においては、地域の先生方と協力を図りながら、南河内南部広域小児急病診療事業の中核として、24時間体制の医療を地域に届けています。

病院は子どもたちにとって、とても怖くて不安な場所です。私たち小児科スタッフが一丸となるのはもちろん、院内のすべての診療科・部門との連携が不可欠です。小児外科をはじめとする各科との迅速な院内対診や、薬剤部、栄養科、放射線科、検査部といったコ・メディカルのバックアップ体制があるからこそ、私たちは自信を持って高度な小児医療を提供することができます。



これからも「地域の子どもたちの笑顔を守る」という共通の目標に向かって、全院的な連携をさらに深めていきたいと考えております。気になる症状やお困りの症例がございましたら、いつでもお気軽に小児科へご相談・お問い合わせください。

ご相談・お問い合わせは小児科外来まで ☎0721-24-3100（代）

小児科の情報はこちらからも